

カンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞

6/8(金)全国ロードショー

『万引き家族』 是枝監督自ら書き下ろした小説
映画公開に先駆けて5/28発売！

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:蓮見清一)は、2018年6月8日から全国で公開される是枝裕和監督の映画『万引き家族』のノベライズ、『万引き家族』を5月28日に発売します。

映画『万引き家族』は、様々な家族の形を描き続けていた是枝裕和監督の最新作です。ベネチア国際映画祭、ベルリン国際映画祭と並ぶ、世界3大映画祭のひとつであるカンヌ国際映画祭に出品され、最高賞の「パルム・ドール」を受賞しました。日本人監督作品での受賞は、今村昌平監督の『うなぎ』(1997年)以来、21年ぶり4人目の快挙です。

是枝監督が、「10年くらい自分なりに考えて来たことを全部この作品に込めようと、そんな覚悟で臨みました」という本作は、東京の下町を舞台に家族ぐるみで小さな犯罪を重ねる一家の、「家族を超えた絆」を描いたヒューマンドラマです。祖母の初枝と、彼女の年金を目当てに移り住んできた息子の治と信代夫婦、その息子の祥太、信代の妹の亜紀、治が助けた少女・じゅりの織りなす物語は、人ととの関係が希薄なこの時代に、犯罪でしかつながれなかつた家族を通して、真の「つながり」とは何かを問う、衝撃と感動がひとつになる稀有な作品となっています。

書籍『万引き家族』は、是枝監督が自ら書き下ろしたノベライズ本で、映画では語り尽くせなかった人物の背景や感情が描かれています。映画を見て、さらに小説を読むことで、はじめて是枝作品特有の何層にも重なる登場人物の内なる想いがひとつひとつ丁寧に回収され、物語をより多角的に、立体的に捉えることができます。また、登場人物たちが劇中では発することがなかった、“声にならない声”が明らかになることによって、「家族の絆」について、作品のメッセージがより鮮明になります。映画の副読本としてはもちろん、映像の世界観を何度も反芻し、感動を倍増するために欠かせない一冊です。

宝島社のは是枝作品のノベライズは、『そして父になる』『三度目の殺人』に続き3作目。



万引き家族

6/8(金)より全国ロードショー
監督・脚本・編集
是枝裕和

出演
リリー・フランキー 安藤サクラ
松岡茉優 城桧吏 佐々木みゆ／樹木希林 ほか

万引き家族

是枝 裕和



宝島社



是枝裕和(これえだ・ひろかず)

1962年、東京都生まれ。早稲田大学卒業後、テレビマンユニオンに参加。主なテレビ作品に「しかし…」(1991/CX/ギャラクシー賞優秀作品賞)などがある。初監督した映画『幻の光』(1995年)が、第52回ヴェネチア国際映画祭で金のオゼッタ賞を受賞。2004年に『誰も知らない』がカンヌ国際映画祭にて映画祭史上最年少の最優秀男優賞(柳楽優弥)を受賞。『歩いても歩いても』(2008年)でブルーリボン賞監督賞を受賞。2013年には『そして父になる』で、第66回カンヌ国際映画祭コンペティション部門審査員賞を受賞している。2015年、『海街diary』が同映画祭同部門に、2016年、『海よりもまだ深く』が同映画祭「ある視点」部門に正式出品された。2017年には、前作、『三度目の殺人』が第74回ヴェネチア国際映画祭コンペティション部門に正式出品され、日本アカデミー賞では最優秀作品賞ほか6冠に輝いた。2018年、第71回カンヌ国際映画祭にて最高賞のパルム・ドールを受賞。

『万引き家族』著・是枝裕和
発売日:2018年5月28日
定価:本体1300円+税